

コープやまぐち奨励賞

ミュージカル山陽ありすの家

代表者 峰永 郁代 (地域づくり分野/山陽小野田市)

活動の動機・目的

様々な格差(世代間格差・性別格差・健常者と障がい者の格差等)があり、その格差に疑問を抱いておられる方々が沢山おられたが、核となるものが無かった。そこで、格差解消と地域の活性化、三世代交流、文化創造活性化を図るために、地域のさまざまな団体と共に協力することを目的に発足。舞台を創る過程で、お互いに支え合い行動することで、性別・年齢・障がい者・障がい児・うつ病をお持ちの方々と共に笑い・泣き・感動し、心のバリアフリー化を目指し、福祉の輪を広げる。「生きる力・輝く心を掴む」。

活動の内容

○年1回の定期公演実施。

「毎年タイムリーな話題をテーマとして、一から(脚本・曲・ダンス)全て手作りで行っている。

2012年 「邪馬台国」 歴史を通して人と人とのつながりを考える。

2013年 「虹のバースデイ」 STOP!虐待 STOP!いじめをテーマに公演。

○学校等公演

・竜王中学校(「翼をください」～学校より依頼されたテーマは“人権”)上演。

・幼稚園・保育園に3会場(親子)。絵本をモチーフとしたものを上演。

○ワークショップの開催(誰でも気軽に参加し体験できる。自己表現を促す)。夏休みに出向く。

○各施設の慰問(小野田市立病院へは年3回・介護施設デイサービスへ3か月に1回)

○練習はキッズクラブが隔週土曜日。ストレッチ、発声法など基本から学ぶ。他は週2回。異年齢と異職業の集まりなので、全員の意識統一やモチベーションを保つのに苦労するが、できるだけ会内においてのイベントを開催し、会員相互のコミュニケーションをとり、三世代が気持ちよく、楽しく活動できるようにしている。舞台製作、小道具、衣装制作も行う。

※この会のこだわりは、客席と舞台を区切るのではなく、客席に降りて行ったり、客を舞台に上げたりして、巻き込み、ふれあいを大事にしていること。

これからめざしたいこと

障がいや病気をもっていても、高齢でも一緒に楽しく踊り、ステージに立つことができるということを観られたお客は、前向きになれるし、勇気をもらわれていると思う。いろいろな方が舞台やおまつりで、同じ舞台に立てることが一番と思っている。“人間皆同じ”ということが信条。

皆、忙しい中でも、頑張っているということが一番の成果と思う。客席の人達の笑い声や笑顔に感動。次への元気につながる。自分たち市民の手で、夢と感動と生きる勇気を沢山の方々に伝えたい。そして、ミュージカルを通じて、たくさんの方が多くの人と出会い、同じ楽しい時を過ごし、幸せになってもらえたら・・・の思いで続けていく。



「翼をください」
公演写真



「山陽小野田市市民祭り」
参加風景